

平成 28 年 6 月 29 日

【ゼニガタアザラシの実験について】

北海道沿岸に生息しているゼニガタアザラシは観光客に人気で観光資源となっています。一方「とっさり食い」と言い、網に掛かったサケなどをかじったり傷つけたりすることもあり漁業被害も引き起こしています。

当館では、平成 25 年度から環境総合推進事業（環境省）での漁業被害の軽減対策を目的に、人とゼニガタアザラシとの共存のために北海道大学 FSC と浅虫水族館が共同で研究を行っています。

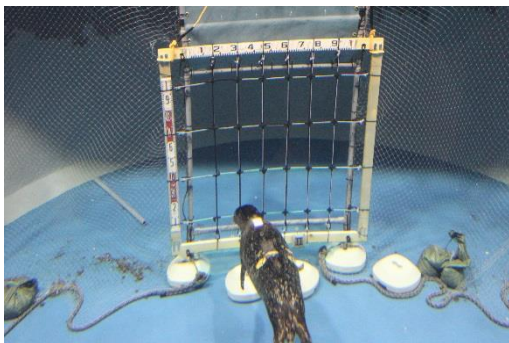
今回、下記の通りゼニガタアザラシの実験を行う予定ですので、実験の様子を公開いたします。

【期 間】 平成 28 年 6 月 30 日（木）～7 月 15 日（金）

【場 所】 海獣館・ゼニガタアザラシプール

【実験内容】 プール内に設置した擬似漁具に餌をつけ、その反応を観察しアザラシが食べられるものをどのように学習しているのかを探ります。なお、実験内容は国立大学法人北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 三谷曜子（みたにようこ）准教授が発表します。

【スケジュール】 6/30（木）10：00～7/1（金） 生きたタコをタコカゴに入れて提示  
7/4（月）～7/8（金） 解凍したタコを擬似漁具につけて提示※  
（7/8 に三谷准教授来館予定。）  
7/11（月）～7/15（金） 解凍したカレイを擬似漁具につけて提示※  
※解凍したタコ、カレイの実験では、木曜日（7/7、14）は擬似漁具のみを提示します。



（平成 25 年 1 月に行った実験の様子）

